



あおば通信

平成30年/2月/日 第59号

発行 八戸あおば高等学院

☎031-0081 八戸市柏崎二丁目7-14 ☎0178-22-3470(学院)

身近なところから考える地球環境－新聞紙バッグ・卵キャンドルづくり－

10月25日に八戸リサイクルプラザを見学し、施設見学と古新聞を使ったエコバッグづくりに挑戦しました。また、11月2日には田子町のTAKKO Cafeにて、川名美夏さん（元・田子町地域おこし協力隊員）のご指導のもと、卵の殻とトイレットペーパーの芯、廃油を使ったキャンドルづくりに挑戦しました。

新聞紙バッグも卵キャンドルも使い古したものを捨てずに再利用してつくります。おりしも、10月末に約30年後には海は魚よりプラスチックごみ（プラごみ）が多くなることや、プラごみを食べた魚をさらに私たちが食することにより、微小なプラごみが日本を含む8ヶ国の人への便に含まれていたとの研究結果が発表され、報じられたタイミングでの授業でした。

学院ではビジネス基礎や現代社会、家庭基礎などの授業で「循環型社会」について学びます。最近では「3R」(Reduce (リデュース：減らす)、Reuse (リユース：再利用)、Recycle (リサイクル：再生利用)) に不要なものを拒否するRefuse (リフューズ：拒否) を加えた「4R」が叫ばれるようになってきました。今回の校外授業を通じ、改めてごみの出し方や地球環境、循環型社会について考えさせられました。

<生徒の感想から>

- ・リサイクルプラザに行きリサイクルのしくみについて学びました。ごみの分別は複雑で種類によって危険性が伴います。リサイクルの意識が増えることが重要だと感じました。【Y.K (2年・十和田中卒)】
- ・生きているうちにとつともないごみが出ていて、またそのごみの中で有害なごみが発生するのは、科学の進化ゆえであるのかなと感じました。五輪が開催されるので、世界に誇れるリサイクル技術を発展させていけたらと思いました。【K.N (3年・八戸三中卒)】
- ・前にも卵キャンドルをつくる体験をしたことがありましたが、TAKKO Cafe でつくるキャンドルは、全て廃棄されるものでつくるそうです。油はお菓子作りの油らしく、使うときにいいにおいがでるそうです。【S.H (2年・八戸湊中卒)】
- ・リサイクルキャンドルづくりの体験をした。材料がトイレットペーパーの芯と卵の殻と廃油。この3つの材料で簡単にできるというものだったので驚いた。少ない材料なのにとてもおしゃれなものが出来たので楽しかったし、満足した。【S.T (3年・根城中卒)】



高齢者との農作業を行いました

10月25日に八戸市内のかなえるデイサービス「まる」の利用者、そして自然体験に興味のある子どもたちと親御さんとで、南部町の「むがし農園」にお邪魔し、大根の収穫体験をしました。学院では開校まもない頃から、農園をお借りし農作業を行ってきましたが、昨年度からは、農作業に異年齢交流を加え、高齢者や子どもたちを交えた農作業体験を実施しています。

当日は千本近い大根を抜き、仕分け作業をしました。この大根は、デイサービスの利用者によって漬物となり年明けには販売するそうです。

<生徒の感想から>

- ・収穫体験は思ったよりもきつかったです。大根をひねって抜くという行動を何度も繰り返していたら腕がパンパンになりました。農家の人たちの苦勞が知れ、感謝しようと思いました。【M.K (1年・長者中卒)】
- ・収穫体験で大根掘りをしました。予想以上に重いし、足腰への負担が大きかったです。お昼はきたむら茶屋でカレーと鶏汁をいただきました。とても美味しかったですし栄養バランスもいいなと思いました。【K.I (3年・八戸東中卒)】



<平成31年度入学生(現・中3生)募集中です。転編入生も随時受け入れます。詳細はお問い合わせください>

高齢者・視覚障がい者疑似体験を行いました

10月27日に八戸市社会福祉協議会の松井淳平さんを講師に迎え、高齢者・視覚障がい者疑似体験を行いました。80歳になったときに想定される身体特徴（難聴・白内障・筋力低下・細かい作業がしにくい）の体験と、アイマスクをつけて白杖を持つ視覚障がい者の体験をしました。

参加した生徒は「今後お年寄りと接するときは今日のことを思い出して、気遣い出来るようになりたい」、「目の前が見えないことがこんなに怖くて不安になるんだと判った。これからの生活で困っている人がいたら少しでも助けになれるよう声かけなどしていきたい」と感想を話していました。



^^*^*^*^*^*^* **TOPIC** *^*^*^*^*^*^*^*



10月20日に八戸市在住のボールペン画家の石橋暢之さんの作品展を見学しました。石橋さんは学院の開校まもない頃、ボールペン画を寄贈していたとき、ボールペン画の指導をしてくださいました。

今回も作品展の合間を縫って、生徒にボールペン画の指導をしてくださいました。

「子ども・若者地域支援フォーラム」

青森県主催による上記フォーラムが12月27日に十和田市で行われます。当日は「困難を抱える子ども・若者を支える地域づくり」と題し、札幌市若者支援総合センターの松田考館長による講演のほか、本学院の日渡文雄校長が活動紹介を行います。多くの方のご参加をお待ちしております。お申し込みやお問合せは県の担当課をお願いします。

- ・日時：平成30年12月27日（金） 13時～15時
- ・場所：十和田富士屋ホテル（十和田市東三番町1-6）



〔申込〕青森県青少年・男女共同参画課 ☎017-734-9224

あおばの会からのお知らせ

◎ふれ愛・あおば食堂

<12月7日・22日実施>

ひとりでごはんを食べることが多い方を対象に、第1土曜に「ふれ愛・あおば食堂」を行っています。ふれ愛・あおば食堂は「みんなでごはんを作って食べ（後片付けも自分たちで行います）、勉強したり、遊んだりする仲間作りの場」です。食糧品の提供もお待ちしております。（次回は12月7日です。「ケーキ」をみんなでつくります）



◎フリースペースあおば

火曜～金曜 13～17時

フリースペースでは、家から出て通うことから始めます。それから子どもたちのニーズに応じたサポートを行います。地域の皆さまや八戸あおば高等学院に通う生徒たちとの交流を行いながら、人や社会との関わりを身につけます。「学校以外に子どもたちが輝く場所」。そんな場所になればと考えています。

あおばの会では活動に賛同して下さる方を募集中です。☎0178-22-3470（事務局）

今後の主な行事予定(12月・1月)

- 12月 7日 ふれ愛・あおば食堂
- 7日・27日 カウンセラーによる教育相談日
- 8日 オープンキャンパス
- 8日・15日・22日 入試
- 15日 3年生レポート提出期限
- 18日～22日 技能科目集中授業
- 25日 全体スクーリング(13時～)
- 26日～1月7日 冬季休業・補習授業
- 1月 5日 オープンキャンパス
- 5日・12日・19日・26日 入試
- 8日 全体スクーリング(13時～)
- 9日～19日 技能科目集中授業
- 11日・25日 カウンセラーによる教育相談日
- 22日～29日 スクーリング・卒業試験
- 29日 1・2年生レポート提出期限
- 30日 冬季スポーツ実習
- 31日 テーブルマナー

教育相談 坂本先生:12/7.1/11 小野寺先生:12/21.1.25